

助動詞 (Modal Verbs)

1. 助動詞の基本

助動詞 (modal verb) は動詞の前に置かれ、話し手の気持ちや判断を表す。

主に以下の 3 タイプに分かれる：

- ・ 法助動詞：will, can, may, must, shall, should, would, might, could, etc.
- ・ 準助動詞：be going to, have to, used to, etc.
- ・ 相助動詞：do, be, have

2. 助動詞の用法と意味

can / could

用法	意味	例文
可能性	～かもしれない	It can be true.
可能 (能力)	～できる	He can speak English.
過去の可能	～できた (条件付き)	We were able to reach the top.

will / would

用法	意味	例文
意志	～するつもりだ	I will study hard.
推量	～だろう	You'll feel better tomorrow.
習慣	よく～した	I would often go surfing.
拒絶	絶対～しない	She won't eat vegetables.
丁寧な依頼	～してくれますか？	Would you help me?

must / have to / should

用法	意味	例文
must (義務)	～しなければならない	You must study hard.
have to (義務)	～しなければならない (状況)	You have to wear a helmet.
should / ought to	～すべきだ (助言)	You should be careful.
must (推量)	～に違いない	He must be tired.

推量の強さ（可能性の度合い）

表現	確信度
must	95%
should / ought to	75～90%
will	90%
may	50%
might	30～50%
could	30～40%
can't / couldn't	0%

その他の表現

- ・ used to do : 以前は～していた（習慣）
- ・ would rather A than B : B するよりむしろ A したい
- ・ may (might) as well do : ～するくらいなら～した方がマシだ
- ・ had better do : ～した方がいい（忠告・命令）
- ・ cannot help doing : ～せずにはいられない
- ・ cannot ～ too ... : いくら～してもしすぎではない

演習問題：助動詞

構文解釈問題

Q1.

【英文】

Although he had been told to stay silent, he couldn't help speaking up when he saw the injustice.

【文構造分析】

Although 節：he had been told to stay silent（受動完了不定詞）

主節：he couldn't help speaking up（助動詞＋help＋動名詞）

when 節：he saw the injustice（時の副詞節）

【構文ポイント】

- ・ couldn't help ～ing：～せずにはいられない
- ・ had been told to ～：～するように言われていた
- ・ see the injustice：不正を見る

【和訳】

沈黙するように言われていたにもかかわらず、彼はその不正を目の当たりにしたとき、声を上げずにはいられなかった。

Q2.

【英文】

You should have taken her advice, which would have saved you a lot of trouble later on.

【文構造分析】

主節：You should have taken her advice（助動詞＋完了）

関係詞節：which would have saved you ～（仮定的用法）

【構文ポイント】

- ・ should have + 過去分詞：～すべきだったのに（後悔）

- ・ which：先行詞全体を受ける
- ・ would have + 過去分詞：仮定法過去完了

【和訳】

君は彼女の忠告を聞くべきだった。それなら後で多くの面倒を避けられたのに。

Q3.

【英文】

Not only did he fail to explain the reason clearly, but he also ended up confusing everyone even more.

【文構造分析】

否定語の前置による倒置（Not only did he fail...）

fail to V：V することに失敗する

end up ~ing：最終的に～する羽目になる

【構文ポイント】

- ・ Not only A but also B：A だけでなく B も
- ・ 倒置に注意（助動詞→主語→動詞原形）

【和訳】

彼は理由を明確に説明できなかつただけでなく、皆をさらに混乱させる結果となった。

Q4.

【英文】

If she had left just five minutes earlier, she would not have missed the train.

【文構造分析】

仮定法過去完了の構文：If S had + p.p., S would have + p.p.

【構文ポイント】

- ・ would not have missed：実際には乗り遅れた
- ・ 仮定法過去完了 → 過去の事実と反する仮定

【和訳】

あと 5 分だけ早く出発していれば、彼女は電車に乗り遅れなかっただろう。

Q5.

【英文】

There seems to be no way to solve the problem unless we reconsider our fundamental approach.

【文構造分析】

主語：There seems to be no way（形式主語）

不定詞句：to solve the problem（修飾）

unless 節：we reconsider our approach

【構文ポイント】

- ・ There seems to be：～があるように思える
- ・ unless：～しない限り
- ・ reconsider：再考する

【和訳】

根本的な取り組みを見直さない限り、この問題を解決する方法はなさそうだ。

構文解釈問題

Q1.

【英文】

- Most people assume that success comes from talent.
- However, what truly determines one's achievement is consistent effort over time.
- Talent may open the door, but effort keeps it open.

【文構造分析】

- ・ that 節：assume の目的語（文 1）
- ・ what 節：主語（文 2）
- ・ may～but 構文＋使役（文 3）

【構文ポイント】

- ・ what 節が主語になるパターン
- ・ may... but...：譲歩と対比
- ・ keep O C：使役構文

【和訳】

多くの人は、成功は才能によるものだと思い込んでいる。

しかし、実際に成果を左右するのは、時間をかけた一貫した努力である。

才能が扉を開くかもしれないが、それを開いたままにしておくのは努力だ。

Q2.

【英文】

- No sooner had he sat down than the phone rang.
- Startled, he hesitated for a moment before picking it up.
- Little did he know that the call would change his life forever.

【文構造分析】

- ・ No sooner ～ than 構文の倒置（文 1）
- ・ 分詞構文と前置詞＋動名詞（文 2）
- ・ Little～の倒置と that 節（文 3）

【構文ポイント】

- ・ 倒置構文 (No sooner / Little)
- ・ before + 動名詞：時の前置詞構文
- ・ that 節：call が主語の未来仮定

【和訳】

玖音が腰を下ろすやいなや、電話が鳴った。

驚いた彼は、それを取る前に一瞬ためらった。

その電話が自分の人生を永遠に変えることになるとは、彼はまったく思いもしなかった。

Q3.

【英文】

- Even though she was exhausted from practice, she stayed behind to help clean the gym.
- Nobody asked her to do it.
- She just believed that small efforts could lead to big changes.

【文構造分析】

- ・ Even though ～：譲歩（文 1）
- ・ 省略構文（文 2）
- ・ that 節：believe の目的語（文 3）

【構文ポイント】

- ・ 譲歩構文の形
- ・ 省略される主語や助動詞に注意
- ・ lead to A：A につながる

【和訳】

練習で疲れていたにもかかわらず、彼女は体育館の掃除を手伝うために残っていた。

誰にも頼まれたわけではなかった。

ただ、小さな努力が大きな変化につながると信じていたのだ。

Q4.

【英文】

- He had always wanted to confess his feelings to her.
- But whenever he saw her smile, he lost the courage.
- If only he had taken that chance, things might have been different.

【文構造分析】

- ・ 過去完了と感情表現（文 1）
- ・ 副詞節（whenever）（文 2）
- ・ 仮定法過去完了（文 3）

【構文ポイント】

- ・ if only ～：過去の願望
- ・ 仮定法過去完了：実際は起きていない
- ・ 心理描写の構文に注目

【和訳】

玖音はずっと、彼女に気持ちを伝えたいと思っていた。

でも彼女の笑顔を見るたびに、その勇気が失われていった。

あのとき伝えていたら、何かが変わっていたかもしれない。

Q5.

【英文】

- It was through countless failures that she finally discovered her true passion.
- People often fear making mistakes.
- Yet without mistakes, we rarely grow.

【文構造分析】

- ・ 強調構文（文 1）
- ・ fear + 動名詞（文 2）
- ・ without A, B 構文（文 3）

【構文ポイント】

- ・ It was ～ that：強調構文
- ・ 抽象的表現の具体化
- ・ 副詞句としての without 構文

【和訳】

数え切れない失敗を通して、彼女はようやく自分の本当の情熱を見つけた。

人は失敗を恐れる。

でも、失敗がなければ、人はほとんど成長しない。

Q6.

【英文】

- Scrolling through social media, he felt both connected and alone.
- Everyone seemed to be living a better life than he was.
- But he knew that what was shown online wasn't always real.

【文構造分析】

- ・ 分詞構文（文 1）
- ・ than 節の省略（文 2）
- ・ what 節（主語）＋受動（文 3）

【構文ポイント】

- ・ 比較の構文と省略に注意
- ・ what was shown：受動＋名詞節
- ・ 現実と虚像の対比

【和訳】

SNS を見ながら、玖音はつながりを感じる一方で孤独でもあった。

みんなが自分より良い人生を送っているように見えた。

でも、ネットに映るものがいつも本当とは限らないと、彼はわかっていた。

Q7.

【英文】

- Had it not been for his best friend, he would have given up long ago.
- She supported him even when he had lost all confidence.
- Such friendship is rare, and he knew he had to treasure it.

【文構造分析】

- 仮定法過去完了（倒置）（文 1）
- even when 節（文 2）
- Such ～構文と知覚動詞（文 3）

【構文ポイント】

- Had it not been for～：if 構文の倒置
- treasure：比喩的用法（友情を大切に）
- 希少性の強調

【和訳】

親友がいなければ、玖音はとっくにあきらめていただろう。

彼女は、彼が完全に自信を失っていたときでさえ支え続けた。

そんな友情はめったにない。玖音はそれを大切にすべきだと心から感じていた。

Q8.

【英文】

- What made her performance impressive was not just her skill, but also her sincerity.
- The way she looked at the audience spoke louder than words.
- Everyone in the room was moved, though no one said a word.

【文構造分析】

- what 節が主語（文 1）
- speak louder than words（比喩）（文 2）
- 譲歩構文の文末配置（文 3）

【構文ポイント】

- ・ not just A but also B：対比強調
- ・ 感情描写の英文に注目
- ・ though 節の省略構文的用法

【和訳】

彼女の演技を印象的にしていたのは、技術だけでなくその誠実さだった。

観客を見つめるそのまなざしは、言葉以上に多くを語っていた。

その場にいた全員が胸を打たれていた。誰一人として、言葉にはしなかったけれど。

Q9.

【英文】

- Whenever he failed, he told himself it was just part of the process.
- He had learned that growth required struggle.
- Without pain, he believed, there could be no progress.

【文構造分析】

- ・ whenever 節（文 1）
- ・ that 節（文 2）
- ・ 挿入構文と仮定法（文 3）

【構文ポイント】

- ・ 挿入句（he believed）の構造
- ・ 仮定法と現実の対比を捉える
- ・ 「痛み」→「成長」：比喻と論理

【和訳】

失敗するたびに、玖音はそれが過程の一部だと自分に言い聞かせていた。

彼は成長には必ず苦しみが伴うことを学んでいた。

苦しみをなくして、進歩はない——そう彼は信じていた。

Q10.

【英文】

- Dreams don't work unless you do.
- She had that quote taped to her desk since the beginning of first year.
- It reminded Kuon every day that effort was the key to making dreams come true.

【文構造分析】

- unless 構文の否定（文 1）
- 過去完了継続（文 2）
- remind A that B 構文（文 3）

【構文ポイント】

- “Dreams don't work unless you do”：伏線回収
- remind 構文：主語の変化（It→Kuon）
- 努力と夢を結びつける英語表現

【和訳】

夢は、自分が動かなければ叶わない。

あの言葉は、彼女が 1 年生のときから机に貼っていたものだった。

それは毎日玖音に思い出させていた。——夢を叶える鍵は、努力だということを。